

授業科目	*初年次セミナー I				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	NU10201J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	目野 郁子、高橋 甲枝、新谷 恭明、中原 智美、笹月 桃子							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナー I および II で構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナー I では、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。対面授業を行うが、遠隔授業になる場合は指示する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べるができる。(DP3-1) 4. グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。(DP3-1) 5. 課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。(DP4-1) 6. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	0	0	40	0	15	0	55	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	0	0	0	0	0	20	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	0	0	10	0	15	0	25	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、自らが積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。				大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、他者と共同し学ぶ姿勢がみられる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	初年次セミナー I オリエンテーション (目野郁子) (全教員) ・初年次セミナーについて ・ポートフォリオについて ・講義概要の記載について	オリエンテーション 講義	・復習:該当部分の復習をする	30
2	大学での学びとは (新谷恭明) (全教員) ・大学とは ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは ・講義の聞き方、ノートの取り方	講義	・復習:該当部分の復習をする ・講義概要をまとめ提出準備をする	60
3	看護学科での学びとは (全教員) ・グループ編成 ・なぜ看護学科を選んだのか	講義・GW	・復習:該当部分の復習をする	30
4	レポートの書き方・本の読み方 (新谷恭明) (全教員) 文献についての説明 引用方法についての説明	講義	・予習・復習:該当部分について行う ・講義概要をまとめ提出準備をする	60
5	情報倫理の基本:情報倫理 (情報課職員) (全教員) 講義概要の指導 (全教員) ポートフォリオ指導	講義 講義(ゼミ別)	・復習:該当部分の復習をする	30
6	情報収集の基礎 (図書課職員) (全教員) ・蔵書・文献検索(CiNii など利用)の基本 ・著作権の基本知識 ・文献カードの記載方法 (図書・雑誌 他)	講義	・復習:該当部分の復習をする ・ポートフォリオの提出準備をする	30
7	スタディ・スキルズ I (目野郁子・笹月桃子) (全教員) ・ミニレポート1 ミニレポート講義概要 文献の読み方 文献カードの記載方法(図書・雑誌 他) 要旨の書き方 課題文を読む	講義 個人ワーク	・文献カードの記載法、要旨の書き方を復習する	60
8	スタディ・スキルズ I (全教員) ・ミニレポート2 ミニレポート作成準備 文献を探す/文献検索 (CiNii、Google Scholar など利用) 文献を読む	個人ワーク	・文献の読み方を復習する ・課題に関連した文献を探し読む	60
9	スタディ・スキルズ I (全教員) ・ミニレポート3 ミニレポートを作成する	個人ワーク	・ミニレポートの提出準備をする	60
10	スタディ・スキルズ II (目野郁子・新谷恭明・中原智美) (全教員) ・課題レポート1 レポート講義概要	講義 GW 個人ワーク	・レポートの書き方について復習する ・文献検索の仕方について復習する	60

	<p>レポートの書き方の説明 文献検索について説明</p> <p>課題発見 文献を探す/文献検索 (CiNii、Google Scholar など利用)</p>			
11	<p>スタディ・スキルズ II (全教員)</p> <p>・課題レポート2 文献を探す/文献検索 (CiNii、Google Scholar など利用) 文献を読む</p>	<p>GW 個人ワーク</p>	<p>・図書館を利用し文献検索を行い文献を集める ・文献を読み課題レポートの作成準備をする</p>	60
12	<p>スタディ・スキルズ II (全教員)</p> <p>・課題レポート3 文献を読む レポートを作成する</p>	個人ワーク	・課題レポートを作成する	60
13	<p>スタディ・スキルズ II (全教員)</p> <p>・課題レポート4 レポートを作成する 要旨を作成する</p>	個人ワーク	<p>・課題レポートと要旨を作成し提出準備をする ・要旨をもとに発表の練習をする</p>	60
14	<p>スタディ・スキルズ II (全教員)</p> <p>・課題レポート5 レポートを発表する レポートの修正をする</p>	GW	<p>・レポートを振り返り修正する ・ポートフォリオの提出準備をする</p>	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療・看護・社会情勢に関する書物やニュースに関心を持ちましょう。 ・「なぜ？」と、疑問に思うことが大事です。疑問に対しては図書館を大いに利用し、学びを深めるようにしましょう。 ・基本的なパソコン操作を修得しましょう。
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、講義資料等、印刷物を配布します。 ・ポートフォリオにファイリングして、インデックスをつけて整理しましょう。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・溝上慎一著『大学生の学び・入門』有斐閣アルマ ・学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』くろしお出版 ・新谷恭明・折田悦郎『大学とはなにか』海鳥社
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・課題以外にも興味関心を持ち、自ら学ぶ積極的な姿勢と取り組みが必要です。 ・図書館を利用し、主体的に学ぶ学習習慣を確立しましょう。 ・グループワークにおける積極的な参加・発言を期待しています。
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標については、評価シートを配布し授業の中で詳しく説明します。 ・達成度評価は、レポート 50%、レポート外提出物(ミニレポートとポートフォリオ)30%と、その他(グループワーク)20%による総合評価とし、70 点以上を標準的レベル、90 点以上を理想的レベルとします。 ・レポートとミニレポートは、構成・内容・テーマにそった一貫性と探求する姿勢を、ポートフォリオは整理工夫と提出状況を、グループワークはメンバーとの協力や意見交換など積極的姿勢を指標に評価します。